

	コンクリート型枠用合板	構造用合板(2級)
曲げ剛性または曲げ性能における、曲げヤング係数の基準値	曲げヤング係数の基準値 (表示厚さ12mm) 長さ方向 7.0 Gpa 幅方向 5.5 Gpa	曲げヤング係数の基準値 (表示厚さ12mm) (長さ方向として) 4.0 Gpa
	曲げヤング係数の基準値 (表示厚さ15mm) 長さ方向 6.5 Gpa 幅方向 5.0 Gpa	曲げヤング係数の基準値 (表示厚さ15mm) (長さ方向として) 4.0 Gpa
	※ 長さ方向又は幅方向の試験の結果、曲げヤング係数が基準値以上であることが必要。	※ 長さ方向による試験の結果、曲げヤング係数が基準値以上であることが必要。

■ 治山工事標準仕様書(林野庁)におけるコンクリート型枠に係る記載事項の例

コンクリート施工に係る型枠及び支保工に係る事項として、

- 使用する材料は、所要の強度、剛性、耐久性及び作業性をもつこと、打ち込まれるコンクリートに悪い影響を与えるものを使用してはならないこと。
- 型枠及び支保工の施工にあたり、種々の施工条件を考慮して、鉛直方向、水平方向、コンクリートの側圧などの荷重を考慮して施工すること。
- 型枠を容易に組立て、取りはずしができ、モルタルのもれない構造とすること。
- せき板内面に、はく離剤を塗布すること、はく離剤が流出し打継部を汚染したり、打込み中のコンクリート内部に混入することのないよう注意すること。

などの規定がみられる。

■ 林道工事標準仕様書(林野庁)におけるコンクリート型枠に係る記載事項の例

コンクリート施工の表面仕上げに係る事項として、

- せき板に接して露出面となるコンクリートの仕上げにあたっては、平らなモルタルの表面が得られるように打込み、締固めをすること。

などの規定がみられる。

※ 森林管理局において工事の検査基準が定められているが、治山工事のコンクリートダム工に係る検査事項として、表面仕上げ等の外見の検査、表面強度の検査等がみられる。